

○蜷川地区タウンミーティング会議録(概要)

日 時:令和元年7月20日(土)

午前10時から午前11時40分まで

場 所:蜷川公民館

出席者:約35人

テーマ1 富山市の主要教育施策について:教育委員会

<主な説明事項>

- 1 富山市の教育理念
- 2 富山市学校教育の充実
 - ・富山市学校教育の概要
 - ・教育相談の充実(スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー)
 - ・学校施設の耐震化
 - ・健やかな身体の育成(小児生活習慣病予防対策、学校給食)
- 3 社会教育の充実
 - ・富山市の社会教育施設

【教育委員会の説明に対する質問】

・地域を担う人材が育たないのですが、地域の社会教育の現状をどのように捉えているのか、実際に行っている施策の中身についてお聞かせください。

(教育委員会事務局長)

地域活動を担っていく人材を今後どのように育成していくのかとのご質問になりますが、各地域の深刻なテーマだと思えます。例えば具体的にお話ししますと、町内会単位でもさまざまな役がありまして、社会福祉協議会、交通安全協会、体育協会など任期制になっている役では、次は誰にお願いするべきかと考えた時に、なかなか手を挙げ

てくれない、声をかけても「私は、嫌です」と、なかなか引き受けてくれないのが現状です。各町内のもっとも深刻な悩み事だと思われまます。

積極的に手を挙げて、「次は、私がやります」という雰囲気にする事で町内が元気になる、町内が元気になるれば、地域が元気になるという好循環を生むための基礎になると思います。「次は、私がやります」と言っていたけような雰囲気にするためには、日頃から子供と大人との関係においても、道で出会ったら、「こんにちは」とあいさつできるような横のつながりも良好で、そのような雰囲気が醸成されていくことが、地域にとって好循環となり、良い空気となっていくと思います。それが元気な地域であり、人材が豊富な地域へと発展していくと思います。

行政が支援している活動として、公民館活動などがありますが、行事に参加する若い世代が少ないために、年配の方がメインとなってしまうことが多くあります。しかし、何とか若い世代を巻き込んで仕掛けていけないかと、情報交換をしているところであります。まず身近な地域活動に、若い世代をどのように巻き込んでいくかを一緒に考えさせていたきたいと思っております。

・私の子供は不登校の状態です。適応指導教室にも通いましたが、学校の集団スタイルが根強いところがありまして通えてないです。スクールソーシャルワーカーにおいても、家庭に入っていない状況です。教育委員会として不登校へ対する支援をどのように考えていますか。

(教育委員会事務局次長)

不登校につきましては、今ほどご紹介いただきました適応指導教室もありますが、学校に近い雰囲気、なかなか馴染めないというご意見を教育センターの方にも伝えて、適応指導教室の在り方の見直しを行っていきたくと思います。

また、スクールカウンセラーもございまして、保護者の方のご相談にも対応しております。スクールソーシャルワーカーにつきましては、家庭と協力しながら問題の解決を図る専門職ですが、実際に入っていない状態であることをお伺いしましたので、学校や直

接、臨床心理士も在籍している教育委員会の学校教育課生活指導係へ、ぜひご相談
いただきたいです。加えて、さわやか相談会というものも定期的を開催しております。

学校、教育委員会、保護者の方と一体となって考えていきたいと思っておりますので、ご相
談いただきたいと思っております。

テーマ2 救急出動の現状などについて:消防局

<主な説明事項>

- 1 富山市の救急概要
- 2 救命講習の案内
- 3 全国版救急受診アプリ「Q 助」
- 4 富山市の火災概要
- 5 住宅用火災警報器(設置場所、維持管理)

【消防局の説明に対する質問】

・救命講習において AED(自動体外式除細動器)の使用方法を教わるのですが、緊急
時に AED の設置場所が分からないと活用できません。さまざまな場所に出店している
コンビニエンスストアには設置をすることはできますか。

(消防局長)

AED をコンビニエンスストアへ設置することについては、過去に市議会において質
問をいただいております。コンビニエンスストアは、基本的には民間の事業者でありま
す。民間の事業者の方のお考え、方針などもあると思います。公共の施設ならば、小中
学校、例えばこの公民館、地区センターには既に設置されています。

民間の施設で、例えばコンビニエンスストアのような24時間営業されている店舗にお
いて、もっとも最近は働き方改革などで24時間営業となるかどうかとの話もありますが、
設置を義務化することになれば、コンビニエンスストアに設置することにもなるだろうと

思います。現状においては、そこまで踏み込んで、コンビニエンスストアに AED を設置しなさいと言えないのが現状と考えております。

(消防局次長)

質問において AED の設置場所が分からないとのことでしたが、救急車に AED は全て積んでおりますので、設置場所が分からない場合は、すぐに 119 番をしていただければ AED は 7 分ぐらいで現場に到着します。

実際に AED を使用するタイミングは、いわゆる意識がない、呼吸がない場合に推奨していますが、その傷病者が AED の対象であるか、実際に電気ショックをするかどうかは、AED のパッドを貼ってみないと分かりません。AED は実際に心臓が止まっている、全く動いていない場合は作動しません。魔法の機械ではありませんので、完全に止まっている心臓を動かす機械ではないのです。心臓が痙攣している、いわゆる不整脈をおこしている状態の心臓を一旦電気で止めて、もう一度動きだすのを期待する機械です。

本当に場所が分からない場合は、すぐに 119 番をしていただければ、救急車全てに搭載していますので、AED が救急車と一緒に到着するという形になります。

(消防局長)

心臓が完全に止まっている状態を心停止と言いますが、映画、テレビなどのシーンなどで、心臓が止まっている人に電気ショックを与えて、心臓の拍動が再開するようなイメージが植え付けられていたわけですが、まったくそれは間違いだったということが AED を消防で扱うようになって初めて分かりました。

「心臓の不整脈」という言葉を次長が使いましたが、ぶるぶる痙攣している状況の時に始動して初めて使用ができるので、完全に止まっている心臓を動かす機械ではないのです。万能で、AED があればすべてが解決されるわけではありませんが、ごく限られた状況の中で AED は有効であると思われれます。

・救急車が現場から患者さんを医療機関に搬送し、医療行為を受けられるまでに要する平均と所用時間について教えてください。

(消防局次長)

救急車に乗せてから病院での医療開始まで、どれくらい時間がかかるか、とのご質問ですが、救急車が現場に到着後、傷病者の状態を観察しまして、車内収容後に病院へ連絡を行うステップを踏みます。その後、病院に搬送となりますので、全体で約23分となります。

・火災で亡くられる方をよくニュースで見ますが、大きな建物ではないのに、何故か何人かが亡くなっておられます。火災の建物からの脱出、避難できなくて亡くられる要因について教えてください。

(消防局長)

建物火災において、大きな建物ではなく、自宅などにおいて部屋の間取り、廊下、階段などを把握しておられるはずなのに、どうして自分の家で亡くなるのだろうかのご質問になりますが、まず建物火災において、死亡に至る原因は、建物が燃えることによって発生した一酸化炭素をはじめとした有毒ガスを吸うことです。十分に酸素が供給されずに燃焼すると、CO₂になるべきところが、COになって、不完全燃焼の有毒なガスを発生します。COは、CO₂より遥かに結合力が強いので、その有毒ガスを吸うと体内にあっという間に取り込まれて、意識があるけど、身体が動かなくなるそうです。

ですから「あーやばい」、「何か起きている」、「煙たい」と、ひょっとして火災に気づかれていても既に身体が動かなくなり、逃げるができなかったのかもしれない。よく「焼死」という言い方をしますが、どちらかという「煙死」、煙による死亡が先であることが実情だと思います。その結果、間取りや廊下・階段を把握しているはずの、ご自宅でお亡くなりなる場合があるのだと思われまます。そのようなことを防ぐために、なるべく早く火災に気付くことが大切であります。先ほど申し上げました住宅用火災警報器は、煙で感知するようになっております。煙は温かいですから、上の方へ行きます。

こちらの公民館の会議室には、住宅用ではありませんが、円型の火災報知設備の感知器が、この部屋の天井に2個設置してあります。こちらは、火災報知機であります。

設置場所は同様でありまして、ご自宅の天井に設置していただければ、いち早く火災に気づくことができます。

【その他意見交換】

・なし

※発言の一部を整理して掲載しています(広報課)